



第19回

ナスバ 安全マネジメント セミナー

2026
11 | 18 (水)

13:00～17:30 (12:00から受付開始)

《会場》
東京国際フォーラム・ホールB7
東京都千代田区丸の内3-5-1

《参加費》
(1名様) 現地対面 :3,000円
オンライン :2,000円

本セミナーは、運輸安全マネジメント制度の更なる浸透・定着を図ることを目的として開催しており、毎年多くの皆様にご参加いただき、高く評価をいただいております。

本年は、運輸安全マネジメント制度の開始から20年、また軽井沢スキーバス事故から10年という大きな節目を迎えます。自動車運送事業者をはじめとする関係者の皆様と安全確保の重要性を改めて共有することにより、本セミナーが安全管理体制の更なる充実・強化と、現場における課題解決に向けた取り組みの推進に資する機会となることを願っております。



理事長
中村 晃一郎

13:15 ～ 基調講演 ①

国土交通省物流・自動車局安全政策課

13:35 ～ 基調講演 ②

国土交通省大臣官房運輸安全監理官室

13:55 ～ 特別講演 ①

高次脳機能障害の息子と共に



こ じ ゃ ゆ み
古謝 由美氏

NPO法人日本高次脳機能障害友の会 監事

1995年9月15日、当時高校2年生の息子は体を鍛えるため元気に出かけていきました。しかし帰宅途中、車に跳ねられ人

間にとって大切な脳を損傷しました。傍目では解らない障がい、高次脳機能障害と向き合い30年がたちました。2000年4月、各地の当事者・家族が集まり日本高次脳機能障害友の会を設立し、2001年、厚生労働省による「高次脳機能障害支援モデル事業」が始まり高次脳機能障害者への支援や社会復帰、交通事故防止などの活動をしています。

14:40 ～ 特別講演 ②

とり返しのつかない痛恨の極み



お ざ な お き
尾木 直樹氏

教育評論家
法政大学名誉教授
臨床教育研究所「虹」所長

法政大学の私のゼミ生4人もの命を一瞬にして奪い、同乗の学生らに重傷を負わせた軽井沢バス事故。命の重さをいやというほど味わったこの間、私は、重大事故は単なるドライバーだけの責任ではない、会社の組織的、構造的な問題が極めて大きいことを思い知らされた。実は会社の初歩的な安全への意識こそが安全への第一歩なのだ。

15:55～ 事業者による取組報告 ①(トラック)

『SEIBU RULE』で安全意識向上



う ら べ け い し
占部 恵司氏

西部運輸株式会社
取締役 安全指導部長

重大事故・構内事故の削減を重点目標に、独自の運転ルールを軸とした安全教育を実施。「Safety Driving Award 2025」で最優秀賞を受賞し、教育システムが評価されたことを実感。受賞理由「取り組み内容はシンプルで他の企業でも実践できるが、その運用の徹底度が際立つ」その教育内容をお話します。

16:25～ 事業者による取組報告 ②(タクシー)

第一交通産業グループ 事故削減取り組みの紹介



た に ぐ ち ま さ へ る
谷口 雅春氏

第一交通産業株式会社
常務取締役
交通事業統括副本部長

当社グループでは、事故原因を個人の不注意(=点)として片付けず、組織的な背景や運行環境、心理的要因等を含めた「面」で捉えることで再発防止と未然予防を徹底しています。誰もが加害者にも被害者にもならない社会を目指す、私たちの具体的な取り組みをご紹介します。

16:55～ 事業者による取組報告 ③(バス)

事故統計の再構築 「記録から安全に繋げる」



う お た に あ き ら
魚谷 観氏

神姫バス株式会社
取締役 バス事業部 部長

来年、創立100周年を迎える今、取り組んだのは事故統計の再構築です。過去を振り返る「記録」から、明日の安全を自ら「創り出す力」へ。100年の歩みで得た教訓を、いかに次世代へ繋ぎ、事故の芽を摘む知恵に変えていくのか。安全運行を永續させるための、当社の変革への道のりをお話します。

主 催 ナスバ 独立行政法人 自動車事故対策機構

協 賛 公益社団法人 日本バス協会

公益社団法人 全日本トラック協会

一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会

後 援 国土交通省

お問い合わせ先

ナスバ安全マネジメントセミナー事務局(株式会社ステージ)

TEL: 03-5966-5778 (平日9:00～17:00 土・日・祝日を除く) e-mail: nasva-seminar2026-secretariat@stage.ac



めざすのは、自動車事故ゼロの社会。

